

磐城時報

石城郡内郷村大字高坂安孫子利してゐるが、此の不良少年連は...

白銀町民が結束し 鮮魚取引所に反対

石城鮮魚共済會から脱會した百餘名の時は白銀町を去つて他町内に...

盛會を極めた 縣下からた大會

本社並びに有明會主催昨十六日たのは惜しかった。戦績は左記...

巡査採用試験

平署では十五、六の兩日日本縣巡査採用試験を行つたが受験者二十一...

動員調査

仙臺第二旅團長以下二十五名の將校は来る二十四日平町を中心...

あす開廷される 植田の殺人公判

放蕩無頼の長男勝衛を懲らしめはせ漁業場の町有地無断使用者...

植田の殺人公判

植田町仁井田農實交下山田寅市(三三)及び弟武(一九)にかゝる...

四倉署管内の 火災調

四倉署管内二町三ヶ村に於ける昭和四年度中の火災は大野村二...

四倉米穀商總會

四倉町有地(海岸附近)を無断に於ては来る春季檢閲に表彰する...

大人泥棒はたしの 五人組不良少年

石城郡内郷村大字高坂安孫子利してゐるが、此の不良少年連は...

植田獵友會

石城郡植田署管内植田獵友會總會は来る二十一日同郡上遠野村...

四倉驛成績

四倉驛の二月中成績は左の如し 貨物發送五千六百八十四噸...

相馬農畜卒業式

立相馬農畜學校第九回卒業式は来る十九日同校講堂に於て...

好評の關影商店

町一丁目關影商店は四倉吉田油槽所の支店であるが昭和三年十...

時報文藝

昨日の朝でありました 使に行つての歸り途 百貨店の店先で...

原野通信

あゝ悲しき花よ! 汝の名は水仙なり 淋しき姿にて庭の片すみに...

實科女校卒業式

馬郡原實科高等女學校は本年初めて第二回卒業生を出さし...

相馬高女卒業式

立相馬高等女學校第十九回卒業式は来る二十日舉行する筈...

### ハガキ集

(投票歓迎)

▲四倉消防組第四部は昨秋より幹部配置問題により紛擾を醸成し警備、試運等にも出勤者少なく幹部も持余りつつ、有りしが部員の強硬なるものは三月八日左の理由書を以て署長に送り解決迄出場を見合はせる事にせり。四部は定員三十名の所八名の職員にて現在二十二名の内部員悉くが幹部の處置を憤慨し居る状態にて自動車ポンプ二臺を有し其精銳を誇りつつ、有りし四倉自動車ポンプも現在では火事場の際に立たぬ状態に陥りたり、之は松本署長就任日尙淺く町内の事情に適合せざるに乘じ佐藤第四部長が仲町方部よりのみ幹部を擧げたる結果なりと。

抑も我が第四部は大正十五年本町、仲町、新町各町より十名の消防手を機械として創設したるものにして其幹部の適當たるや部の融和と統一を願慮して縣消防協會の規定に依れば小頭の任命は二十名に一名の割合なるに拘らず縣下に例のなき十名に一名を置く事とし各町に小頭一名、伍長一名、副伍長一名を置く事とせり然るに本年に至り本町に小頭一名、副伍長一名、伍長一名、副伍長各一名有るに拘らず更に仲町に小頭一名、副伍長一名を任命したるは創設の趣旨に抵触するのみならず其割當の不公平不當なるは何人も認むる所に於て斯ては當然に不平を生じ紛擾起るは當然にして將來に惡例を残すのなり、彼等の昭然たる三年大浦村大森に於ける消防事件は従來は上部落の消防部より各一名の伍長を任命し、下部落にのみ一名の伍長を置くに於ては一名の伍長を置くに始り

り私設消防團迄組織したる社會問題を惹起したるに有らざるや、素より消防手の出世進退は公平正大にして其幹部の割當たるや私情を去り公平ならざるべからず、況んや差別撤廢階級打破の思想が一般民衆心理を構成しつつある現狀に於て斯の如き不公平不當なる幹部の割當にては幹部の命令は徹底せず部の融和統一は徹むべくも有らざれば速かに最善の處置をとられん事を望むものなり(四倉憤慨生)

### 生徒募集

◎本 科 五十名  
◎裁縫専修科 五十名  
◎師範科 五十名  
◎専攻科 三十名  
文務大臣 認可  
**藤田女學校**  
平 町

◎願 書 三月三十日限り  
◎湯本藤田女學校並ニ江名藤田女學校學則ハ別ニ之ヲ定ム

### 生徒募集

一、本 科 生 一 百 人  
一、普 通 科 第一學年 百五十人  
一、普 通 科 第二學年 若 干 人

一、願書提出期限 四月六日

**磐城佑賢學舎**  
電話七一〇番

### 胃腸

内 科 專 門  
十二指 腸胃病 胃性 腸病

婦人病 皮膚病

**松村 院**  
電話(七〇一)番

印刷物は 加納活版所

### 生徒募集

**募集人員**

本科第一部 二ヶ年卒業 五十名  
本科第二部 三ヶ年卒業 五十名  
技藝高等科 二ヶ年卒業 五十名  
同 專攻科 一ヶ年卒業 三十名

◎入學願書ハ履歷書ヲ添ヘ三月末日迄  
◎四月四日午前十時入學式舉行  
◎學則請求ノ方ハ郵券二錢封入ノコト

文部大臣認可 **平陽女學校**  
福島縣平町(電話四四五番)

### 産婆、看護婦

第三十一回

一、修業年限 兩科を通じて一ヶ年  
一、募集人員 八十名  
一、入學資格 高等小學校卒業若しくは之と同等の學力ある者(無試験入學を許す)

一、願書提出期限は四月八日迄  
一、寄宿は自炊の便あり

平町一丁目(電話三五七番)

**石城 產科婦科學校**  
校長 鷹崎 千代

君は、型の洋服を求められたね。眺だね？いや君コレは例のソレ正札堂と



平 町 正 堂

優美高尚 モダン型下駄、草履

御婚禮 豊富に取揃へました

御履物 是 當店

**鈴木ばき物店**  
海岸線平町三丁目 電話二十九番

### 外科一般

醫學博士 藤本 順

### 産婦人科

院長 木村寅次郎  
平町新川町(電話一六四)

病室完備 入院隨意 **木村病院**

カバン 帽子

入學進級には ゼヒ「ツルヤ」へ

新しい丈夫な品が得られます

平町四丁目(電話一四〇)

**に ツルヤ**

### 高久病院

醫學士 赤 高 久  
新瀉醫學士 赤 羽 久  
藥劑士 佐 竹 菊

内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町田町(電話五一三番)

雄清 忠